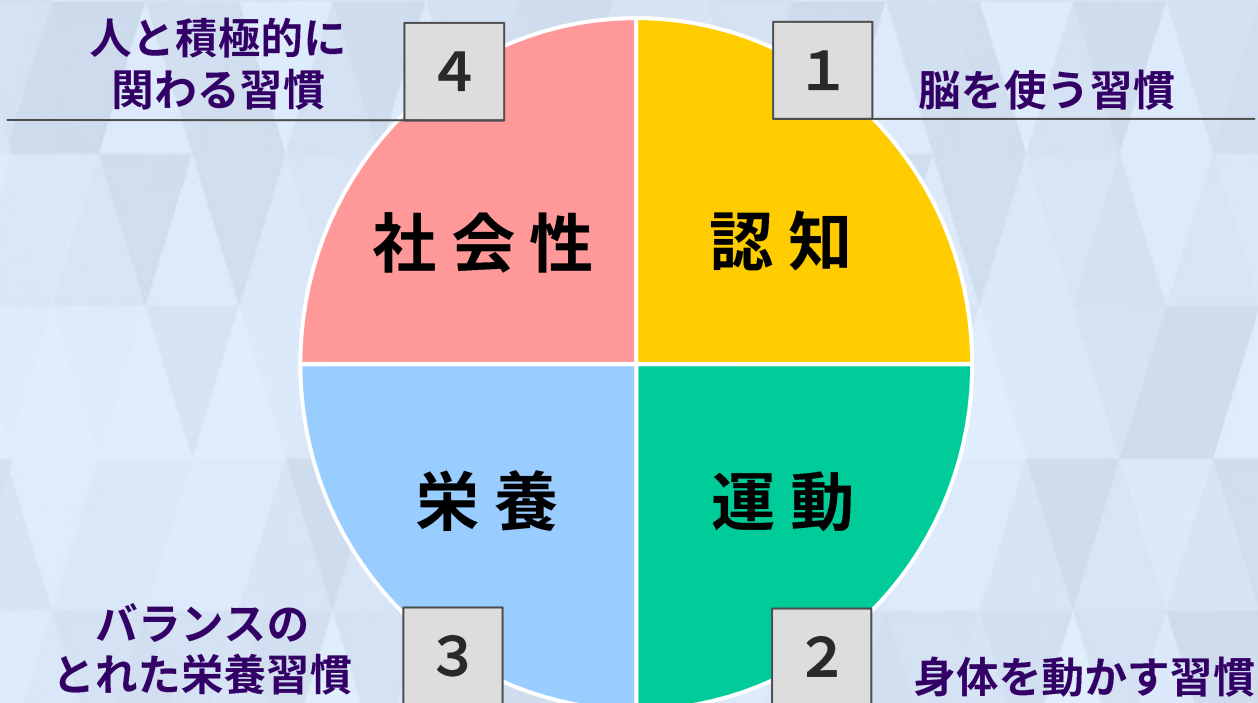


# 東北大学スマート・エイジング・カレッジ

*Tohoku University Smart Ageing College*

## 2022年度下期 特別コースのご案内



スマート・エイジングのための四条件

👉 **スマート・エイジング（SA）**とは、エイジングによる経年変化に賢く対処し**個人・社会が知的に成熟すること**であり、たとえ高齢期になっても人間として成長でき、より賢くなれることを意味します。

👉 SAカレッジは企業の皆様の**「事業支援カレッジ」**です。

👉 東北大学の生命科学・SA分野の精鋭教授陣による**最先端の研究シーズ情報**を提供しており、知識と知恵を**包括的・網羅的に**得ることができます。

—SAカレッジは様々な企業から 過去8年間にのべ**406社**が受講—

Q. 講義内容は？

期待通り・期待以上

**100%**

Q. 実務に役立ちますか？

役に立つ・大いに役立つ

**95%**



—社内のスキルアップに、より受講しやすく！—

▶ 選りすぐりの講座を10月～12月に配信

▶ オンデマンド受講で好きな時間に何度でも

● [参加企業リストはこちら](#)

## □ 参加企業の声



サービス業 事業開発部部长 40代女性

### 今後の新規事業開拓のヒントが明確に

実績事例を交えて具体的な傾向分析があり、今後の新規事業開拓のヒントが明確になりました。認知症と運動に関する事例は何度聞いても含蓄があります。



食品メーカー 企画部 30代男性

### 事業化にあたり、重要な点が見えました

健康寿命延伸ビジネスの事業化を検討するにあたり、まずは、先入観や固定概念を捨てるのが重要だと気づきを得られたのは大きいです。

## □ 商品・サービス化の一例

● [詳細はこちら](#)



「サーキットトレーニング」がスマート・エイジングの4条件に及ぼす影響を包括的に検証  
(カーブスジャパン)



「ヘッドキュア」が脳機能改善などの効果を有することを脳科学的に確認  
(イールル)



スマート・エイジング実現のサポート「ウェルネスコネクト」  
(野村不動産)

# コース紹介

これまでの東北大学SAカレッジから特別に2つのコースを厳選

2022年度の講義から厳選した2つのコースが、10～12月の期間内に何度でも特別価格でご視聴いただけます。



## コースA — 脳科学の観点から認知症を理解し、予防につなげる

- ・東北大学の「脳科学・加齢科学分野」の最先端研究動向を学ぶことができます

### コースA：脳科学の観点から認知症を理解し、予防につなげる

A-①	川島 隆太	教授	加齢医学研究所長	脳科学を応用して新産業を創成する①
A-②	川島 隆太	教授	加齢医学研究所長	脳科学を応用して新産業を創成する②
A-③	瀧 靖之	教授	スマート・エイジング学際重点研究センター	生涯健康脳の維持
A-④	中瀬 泰然	准教授	スマート・エイジング学際重点研究センター	認知症の詳しい病態とその予防策
A-⑤	野内 類	准教授	加齢医学研究所	スマート・エイジング研究の実際



### 川島 隆太

- ・機能イメージング分野のパイオニア
- ・脳機能開発研究の第一人者

認知症高齢者の認知機能を向上させ米国にも輸出された「学習療法」、脳トレブームを生み出した任天堂「脳を鍛える大人のDSトレーニング」など数多くの産学連携実績を生み出している。

● 体験ビデオはこちらから

### 受講者の声

- ・スマートエイジングの定義、認知症に関する様々な研究について、まさに高齢者介護事業を行っている弊社にとって、即介護サービス内容にいかせる内容でした。
- ・大規模な脳科学に対する計測システムを保有し、疫学的な調査も大規模で 論理的であり、それを実学的に社会に反映、還元させるとの意志を強く感じられる講義内容でした。



### 瀧 靖之

- ・脳の発達から加齢までのトピックを網羅した研究分野の第一人者

近著「生涯健康脳」が大ヒット。大規模脳画像データベースを用いて、脳の発達、加齢を明らかにし、どのような生活習慣が脳の加齢を抑えるかを明らかにしてきた。これまで学会賞、論文賞など多数受賞。

### 受講者の声

- ・健康寿命をめぐる問題は、「高齢」になった人が抱える問題ではなく、幼少期から知的好奇心を育む環境づくりや習慣、青年期での生活習慣など関係性は幅広いことがわかりました。
- ・脳科学からの説明も説得力ありましたが、これからの社会の仕組みや私たちの生き方そのものの変革を考える上で、社会現象の捉え方がとても正しく感じられ、明るく解決していける示唆に富んでいました。

## コース紹介

これまでの東北大学SAカレッジから特別に2つのコースを厳選

2022年度の講義から厳選した2つのコースが、10~12月の期間内に何度でも特別価格でご視聴いただけます。



### コースB — スマート・エイジングの考え方から消費行動を理解し、ビジネスに応用する

- ・超高齢社会に向けた「スマート・エイジング研究」から「シニアビジネス」までを体系的に学ぶことができます

#### コースB：スマート・エイジングの考え方から消費行動を理解し、ビジネスに応用する

B-①	村田 裕之	特任教授	スマート・エイジング学際重点研究センター	シニア市場とスマート・エイジング・ビジネス①
B-②	村田 裕之	特任教授	スマート・エイジング学際重点研究センター	シニア市場とスマート・エイジング・ビジネス②
B-③	筒井 健一郎	教授	生命科学研究科	脳内の「報酬系」「罰系」は消費行動にどう影響するか？
B-④	坂井 信之	教授	文学研究科	消費者はどのようにしておいしさを感じているのか？
B-⑤	吉田 浩	教授	経済学研究科	人口高齢化の経済・社会に及ぼす影響



#### 村田 裕之

- ・シニアビジネス分野のパイオニア
- ・高齢社会研究の第一人者

女性専用フィットネス「カーブス」の日本への導入、NTTドコモ「らくらくホン」の開発、「学習療法」の米国への輸出など850以上の民間企業と新事業創出に関わる。経済産業省や内閣府委員会委員など多くの公職を歴任。

●体験ビデオはこちらから

#### 受講者の声

- ・スマートエイジングに関する学術的なバックグラウンドだけでなく、ビジネスをする際のインサイトが分かりやすく説明されていました。
- ・いくつかの事実に基づいた情報、フィジビリティからのビジネスへの展開など、新たなビジネス創案のきっかけになりました。



#### 筒井 健一郎

- ・高次脳機能研究のパイオニア

03年日本神経科学学会奨励賞、09年日本心理学会国際賞奨励賞受賞。動物実験による脳内報酬系や前頭葉の高次脳機能の基礎研究が専門。最近はうつ病のメカニズムの解明にも挑んでいる。

#### 受講者の声

- ・報酬系・罰系に関する脳の仕組みを、基礎の部分からゆっくりかつ丁寧に説明され、非常に分かりやすい講義でした。
- ・行動心理と脳内伝達物質のイメージが具体的に持てたので、今後の教育や計画に対する消費者の行動予測に役立てたいと思います。
- ・ドーパミン、セロトニンといった神経伝達物質の担う役割、神経細胞のメカニズムについて理解が深まりました。

## 申込要領

受講料	各コース <b>100,000円</b> (税抜)	申込期限	2022年 <b>10月31日(月)まで</b>
-----	------------------------------	------	-----------------------------

※ 22年度下期特別コースAまたはBをお申込み後、SAカレッジにお申込みの場合：200,000円（税別）と致します。  
（SAカレッジ受講料は通常350,000円(税抜き)となります）

次のWEBサイトからお申込みください。

●URLをクリック

[https://www.sairct.idac.tohoku.ac.jp/sac22\\_special/](https://www.sairct.idac.tohoku.ac.jp/sac22_special/)

申込受付後に東北大学ナレッジキャスト株式会社より請求書類を発行致します。

## お問い合わせ先



〒103-0023  
東京都中央区日本橋室町3丁目2-1  
日本橋室町三井タワー7階

東北大学ナレッジキャスト株式会社  
東北大学SAC事務局宛

TEL : 03-6665-0983 (平日9:00~17:00)

MAIL : [sact@grp.tohoku.ac.jp](mailto:sact@grp.tohoku.ac.jp)

HP : <http://www.sairct.idac.tohoku.ac.jp/>

## SAカレッジのご案内

東北大学スマート・エイジング・カレッジは、東北大学の健康寿命延伸・スマート・エイジング分野の精鋭教授陣が、企業の経営者・実務担当者からなる受講生に対して、東北大学の研究シーズ情報をレクチャーとディスカッションの形で提供します。

企業の健康寿命延伸ビジネスを多様な角度から支援する「事業支援カレッジ」として、過去8年間にのべ406社が参加しています。ご不明な点は、お気軽にお問い合わせください。別途、ご説明させていただきます。